

ウロストミーケア

— 継続看護に向けて —

4階西病棟

○末政 陽子・志村 敦子・津野 由香
三谷 久代・奥田 満香・坂本 佳代
田中 加恵・高橋 雅代・野本 由香
北代あゆみ・平石 愛子

はじめに

当病棟では、年間約6～7症例の回腸導管や尿管皮膚瘻の尿路変更術が行われている。ストーマケアの最終目標にセルフケアの確立があげられるが、平均寿命の延長に伴いストーマ造設を受ける患者も高齢化し、平均66.5歳(42～86歳)となっている。これらの患者は、ストーマリハビリテーションが必要となってくる。これまで看護基準に基づきストーマケアを行ってきたが、手技にとらわれがちで、個々の理解力や自立度の把握が不十分であった。

そこで、セルフケアの援助の統一をはかると共に、患者が安心して一生を送れるように継続看護の検討を行ったのでここに報告する。

I 期 間

平成4年5月8日～9月下旬まで

II 看護の実際(方法及び結果)

1. オストメイトにとって常に問題となるのはパウチの選択・皮膚トラブルである。今後の参考にするために、過去の入院患者がどのようなパウチを使用しているか、皮膚トラブルを起こす頻度を看護記録より調べた。対象として、昭和57年～平成4年までの回腸導管及び尿管皮膚瘻造設術施行後の患者70名(回腸導管29名・尿管皮膚瘻41名)をリストアップした。

<結果>表1, 表2, 表3参照

2. 当病棟では以前の研究結果に基づいて、入院中はユーリンAとユーリンBを使用しているが、皮膚トラブルがある。より良いパウチを提供したいと考え、皮膚トラブルが起こらず、また耐久性の良いパウチをいくつか選択し、今まで使用していたユーリンA・Bを含む

5種類についてパッチテストを試みた。対象は、看護婦・医師30名。(パウチの特徴は表4参照)。**<結果>**表5参照

3. 最近では、医療の進歩と共に衛生材料の中でもディスポ製品の改良は目覚ましく、パウチの種類も多い。ワンピース、ツーピースタイプの装着具合の快適さを知るために、2種類のパウチを24時間貼用し、仕事・入浴・睡眠を体験した。仕事中は、それぞれのパウチ内に尿の代用として100 mlの微温湯を入れた。対象者は看護婦16名で体験結果についてのアンケート調査を行った。

<結果>表6, 表7, 表8参照

4. 患者指導の見直しをするために、退院後のオストメイトの日常生活についての情報収集を行った。対象は開院より回腸導管造設術を受けて現在生存しているオストメイト10名に電話によるアンケート調査を行った。

<結果>表9参照

Ⅲ 考 察

今回の研究はまず、本院の過去の皮膚トラブル及びパウチの種類等の状況を調査することから始めた。

その結果、70症例中28名と約40%に何らかの皮膚トラブルがあった。使用しているパウチはユーリンA, またはユーリンBが多かったが、皮膚のトラブルとパウチの種類の間にはとくに大きな関連性は見られなかった。

しかし、保護剤付きのユーリンBに皮膚のトラブルがあったことに私達は注目した。パッチテストの結果からも保護剤の有無に関わらず皮膚トラブルがみられた。これらのことにより、皮膚トラブルとパウチの種類の間には、必ずしも一定の相関関係があるわけではなく、個人差によるものであると考えられる。そのため、個々の患者に合ったパウチの選択が必要である。

文献によると、ストーマの皮膚障害は、①装具の接着剤によるアレルギー、②排泄物が直接皮膚につく、③頻回な装具の交換、④真菌症が、基本的な誘因としてあげられている。パッチテストで反応の出たパウチを避けることは、皮膚トラブルを防ぐ一つの手段となる。そこで、術前にパッチテストを施行し、皮膚トラブルの有無を調べていくことにした。

パウチの貼用体験では、大半の者が違和感や不快感、不便さを感じた。身体にフィットし、運動面を重視するのであればワンピース型、ストーマの観察及び処置のしやすさではツーピ

ース型が良いということがわかった。これらの結果よりストーマの位置や型、体型、年齢、職業、技術面など患者の状態に合わせ、患者が扱い易いものを選択すれば良いと考えた。

このことから、入院中にワンピース・ツーピース型パウチの両方を使用し、患者自身に選んでもらう方法をとることにした。

一人の患者の自立を援助するためには、単なる知識や技術の伝達だけでは不十分である。私達が行ったパウチ貼用体験により、患者にとって最も日常生活に適した方法を、患者と共に考えていくことが大切であることがわかった。

オレムは¹⁾「セルフケアとは、個人が自分自身の生命・健康及び安寧を維持するために自ら積極的に行う活動の実践を言う。」と述べている。患者のセルフケア能力のレベルに応じた心理的サポートやアドバイスを行い、自立に対する意識を高めていくことがセルフケアへの確立につながると考える。

患者は、ストーマの管理を自分または家人の協力を得て、一応出来る状態で退院していく。

しかし、退院後の生活においては新しい体験も多く、対処できず困惑することもあるはずである。それに関わらず、調査からは意外にも困ったことがなかったという意見が多かった。これは退院後、問題はあったと思われるが、自分にあったストーマケアを模索し自己管理していたのではないかと考える。

また、“オストメイト友の会”に入会している者も少なく、相談相手もないことは、ずいぶん心細いものではないかと思われる。そのため退院後に、新たに生じた問題の解決・心理的支援・情報提供の場が必要と感じ、我々は継続看護に着目した。継続看護を進めていくためには、フォローアップする情報伝達と連携が大切である。病棟、外来間での情報交換を徹底するために継続看護連絡票を作成した。まずは、退院サマリーを退院前に記載し、自己の行った看護を評価すると同時に継続看護連絡票を外来へ送ることにした。

資料①、②、③、④参照

尿路変更術後は、パウチ貼用を一生涯行っていかなければならない。今回の研究を通し、個別的な指導と継続看護の必要性を痛感した。

さらに、外来と病棟病院内に留まることなく、看護添書と共に活用し地域社会の中に継続看護を進めていきたい。

おわりに

今回検討したことは、①パンフレットの見直し、②パウチ交換チェックリストの見直し、

③パウチ種類別一覧表作成，④パウチ貼用患者の術前術後のチェックリストの作成，⑤継続看護連絡票の作成である。高齢化社会と言われる今日，これらを活用することにより，QOLの向上を目指して援助していきたい。

引用・参考文献

- 1) ライト州立大学看護理論検討グループ著：看護理論集，日本看護協会出版会，p. 113, 1983.
- 2) 品田ひとみ：ストーマ周囲の皮膚障害，臨床看護，Vol. 14, No. 4, p. 558～565, 1988.
- 3) 遠藤圭子：ウロストミーケア，術前術後の看護を中心に，ヘルス出版，1990.
- 4) 高屋通子：ストーマ・ガイドブック，人工肛門・人工膀胱の管理，医歯薬出版，1985.
- 5) 田澤賢次：ストーマケアにおける皮膚保護剤の役割，臨床看護，Vol. 14, No. 4, p. 508～512, 1988.
- 6) 金原秀雄：ストーマケア＜基礎と実際＞，金原出版，1985.
- 7) 進藤勝久：改訂ストーマリハビリテーション，メディカルフレンド社，1986.
- 8) 稲岡文昭：セルフケアの考え方とセルフケア能力のアセスメント，月刊ナーシング，Vol. 19, No. 12, p. 1354～1357, 1989.
- 9) 梶西ミチコ：尿路ストーマ外来におけるケアのポイント，臨床看護，Vol. 16, No. 12, p. 1779～1781, 1990.
- 10) 島内 節：退院後の地域での継続ケア，臨床看護，Vol. 14, No. 9, p. 1378～1381, 1988.
- 11) 小笠原秀美他：尿路ストーマ周囲の皮膚かぶれの予防，第9回全国国立大学病院中・四国地区看護研究発表会集録，p. 29～34, 1988.
- 12) 石川稔生：看護診断 診断分類の理論的背景と診断名一覧，クリニカルナーシング，医学書院，p. 126～134, 1992.

表1 使用しているパウチの種類と皮膚トラブルの調査

(対象：S57年～H4年に4階西病棟に入院していた患者70名)

パウチ種類	人数	5	10	15	20
① メディコン ユーリン	19人	[Bar chart showing 19 people using and 7 people with skin trouble]			
② ユーリンA	9人	[Bar chart showing 9 people using and 3 people with skin trouble]			
③ ユーリンB	18人	[Bar chart showing 18 people using and 15 people with skin trouble]			
④ ユーパック	1人	[Bar chart showing 1 person using and 1 person with skin trouble]			
⑤ ユニパック ソフト	2人	[Bar chart showing 2 people using and 0 people with skin trouble]			
⑥ ユープラス	1人	[Bar chart showing 1 person using and 0 people with skin trouble]			
⑦ ホスパック	1人	[Bar chart showing 1 person using and 1 person with skin trouble]			
⑧ ユリナリーク パック	1人	[Bar chart showing 1 person using and 0 people with skin trouble]			
⑨ 不明	18人	[Bar chart showing 18 people using and 1 person with skin trouble]			

□ 使用している人数

■ 何らかの皮膚トラブルをおこした人数

表2 調査対象70名中皮膚トラブルをおこした割合

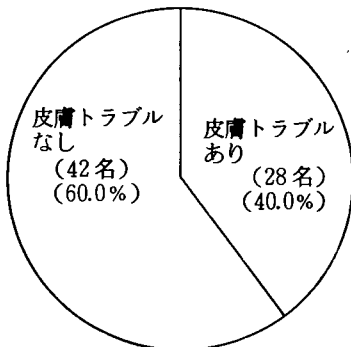


表3 皮膚トラブルを起こした回腸導管と尿管皮膚ろうの割合

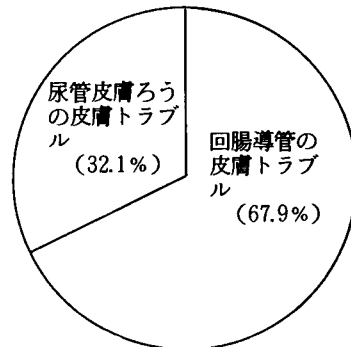


表4 パウチの特徴

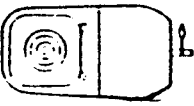



会社名	商品名	形	状	包装単位	標準価格	備考
ワンプラス型 東京衛材	バイオ ユーリンA	 粘着面は 2種類ある		10枚	500円	<ul style="list-style-type: none"> • コストが安い。 • 入手しやすい。 • 皮膚への刺激が少ない。 • フィット性にすぐれ、体動もスムーズに行える。
	バイオ ユーリンB			10枚	700円	
ツープリース型 スクイブ社	バリケア フレンジ			6枚	708円	<ul style="list-style-type: none"> • 皮膚保護剤付き。 • 粘着力が強く硬い。
	バリケアソフ トフレンジ			6枚	708円	<ul style="list-style-type: none"> • 皮膚保護剤の周りを通気性のある低刺激性粘着テープで囲んでいる。 • 入浴、シャワーでも溶けない。 • 外から目立たず、活動に便利。
	デュラヘーシ ブフレンジ			5枚	990円	<ul style="list-style-type: none"> • 非水溶性保護剤使用。 • 貼用期間と密着性が大きく向上している。 • 表面の柔らかいプラスチックフィルムはストーマを傷つけない。

表5 5種類のパウチ・パッチテスト調査

(対象：4階西病棟看護婦・医師30名)

パウチ種類	人数	5	10	15	20
ユーリン A	2人				
ユーリン B (保護剤つき)	0人				
バリケアソフトフランジ (保護剤つき)	0人				
バリケアフランジ (保護剤つき)	3人				
デュラヘーシブフランジ (保護剤つき)	0人				


皮膚に搔痒，発赤のあった者 

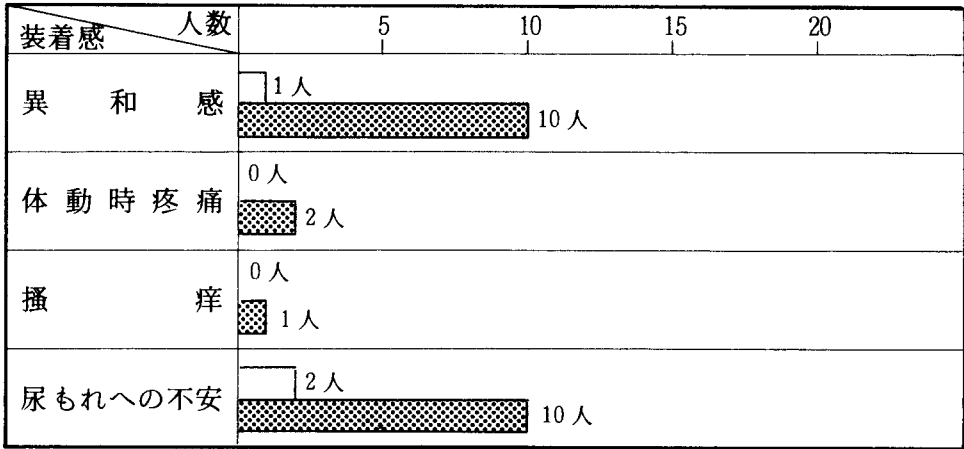
表6 パウチ貼用24時間体験

パウチ種類別の皮膚状態

パウチ種類	人数	5	10	15	20
バリケアフランジ	使用した人数				16人
	発赤		10人		
	疼痛	3人			
	搔痒			11人	
ユーリン A	使用した人数				11人
	発赤		7人		
	疼痛	2人			
	搔痒			7人	
ユーリン B	使用した人数				5人
	発赤		5人		
	疼痛	1人			
	搔痒			4人	

使用した人数  発赤  疼痛  搔痒 

表7 タイプ別による快適さ調べ
(対象者：16名)



□ ワンピースタイプ ■ ツーピースタイプ

表8 パウチ貼用の具体的な感想(アンケート結果)

1	尿が漏れそうという不安があった
2	ストッキングや下着が途中までしか上がらず不快があった
3	常にパウチが気になりしかたがなかった
4	常に湿っている様な感じで不快があった
5	体動時違和感があった
6	衣服の工夫が必要と思った (今まで着ていた服が着られなくなる)
7	入浴時、はがれそうな感じが一番強い
8	腰痛, 背部痛があった
9	ツーピースの接続部が腹部にあたり痛みを感じた
10	ツーピースパウチの素材が不快
11	走った時水の音が気になった

表9 オスメイトの日常生活のアンケート結果

オスト メイト	パウチの 種 類	交換日数	かぶれの 有無と対処	外 出 時	困った時	工夫した点	ウロストミー 友の会を知っ ているか
A	ユーリンB	仕事しない 時 1週間 仕事する時 4日	無	そのまま	外来Ns の指導を 受ける	な し	知っているが 入っていない
B	ユーリンB	夏(発汗時 毎日) 3~4日 冬5~6日	無	そのまま	な し		知らない
C	ユーリンB	2~3日	有(テープ かぶれ) 軟膏塗布	そのまま	外 来	な し	知っているが 入っていない
D	ユーリンB	1週間	無	そのまま	な し	腹巻きのような物を使用	知らない
E	ユーリンB	夏3~4日 冬4~5日	軽度のかぶ れ	そのまま	な し	な し	知っているが 入っていない
F	ユーリンB	1週間	ユーリンB でかぶれ レクタック クリーム塗布 中	そのまま	な し	な し	知っているが 入っていない
G	ユーリンB	3~4日	ユーリンA でかぶれ ユーリンB に変更	そのまま 外出時は朝 はりかえる	な し	な し	知らない
H	ユーリンB	5 日	無	そのまま	な し	な し	知らない
I	ユーリンB	1週間	無	そのまま	な し	な し	知っている
J	ユーリンB	4~5日	ユーリンA でかぶれ ユーリンB に変更	ベルトとパ ウチがずれ る為固定ベ ルトを使用	な し	パウチの角か らはげるため 角を丸くカッ トする。 パウチ交換時 は新聞紙を尿 漏れ受けに使 用	知らない

【資料1】

継続看護連絡表					
氏名	()歳	男・女	M T S	年 月 日生	職業 (職務内容:)
診断名		入院期間		担当医	担当看護婦
医師説明から内容の		家族構成		家庭での主な介助者 ()	
入看院中経過の過	<手術日> 月 日 <術式>				
パウチ交換の状況	パウチの種類		皮膚状態	ストーマの状態	
	パウチ交換の間隔			皮膚の状態	
退院時のチェックリスト・評価					
今後に残った問題		今後の対策			
パウチの購入方法					
身体障害者手帳の手続き	無 ・ 有 (月 日)				
紹介病院名					
本院外来受診予定日					

高知医科大学附属病院 四階西病棟

【資料2】

尿路変更術患者の術前・術後チェックリスト

患者氏名

手術日 平成 年 月 日

スケジュール	No.	項目	実施 月日	実施 サイン	評 価
手	1週間前	1 “人工膀胱のしおり”にそって術前オリエンテーションを行う			
		2 受け入れ・理解度の把握			
		3 実物を見せてパウチの説明をする			
術	5日前	4 パッチテスト施行			
		5 パッチテスト判定			
	3日前	6 マーキング施行介助			
		7 パウチ貼用の実施			
		2日前	8 高圧浣腸		
前 前日	前日	9 剃毛			
		10 精神状態の把握と受容状態を知り術後のケア計画を立てる			
		11 高圧浣腸			
手	1週～	1 “人工膀胱のしおり”にそって分かりやすく説明する			
		2 パウチ交換指導チェックリストを渡す			
		3 パウチの種類を見せ、ワンピース型・ツーピース型の貼用を行ってみる			
		4 パンフレットを用いて手順説明・カット練習開始・実際に患者自身が行ってみる			
術 後	2週～	5 退院後のパウチの決定			
		6 退院後の必要物品を準備する			
		7 昼間ウロガードをはずし、夜間はつけるようにする			
		8 パウチ貼用チェックリストの評価			
		9 自立度の評価			

その他は、一般術後患者チェックリストに準ずる 受け持ち看護婦()

退院年月日 平成 年 月 日

【資料3】






パウチ交換チェックリスト







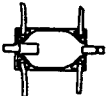

患者氏名 () 手術月日 ()

チェック項目	交換月日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
①必要物品の準備ができる													
②ストーマの大きさに合わせてきれいに切るこ とができる (ストーマの大きさより 0.5cm 以上開けない)													
③上から下にパウチをはがすと同時にストーマ にガーゼをあてることできる													
④皮膚をきれいに拭くことできる (ベンジンかユニソルブ)													
⑤ストーマ・皮膚の観察ができる													
⑥手で触れてみて乾燥を確認できる													
⑦パウチを貼ることができ													
a 腹部の皮膚を伸ばす													
b パウチがストーマにかからないように貼る													
c 外側に向けて早く密着させる													
d パウチを貼るまで尿がこぼれない													
評価	○ 一人でできる												
コメント	△ 手伝ってもらう												
	× できない												
交換となった理由	1. 尿もれ												
	2. 本人の希望												
	3. 定期的交換日												
	4. その他												
実施者	サイン												

【資料4】

パウチ皮膚保護剤一覧表

	会社名	商品名	形状	包装単位 1箱辺り	包装単位 1箱辺り	備 考
ワ ン ピ ー ス 型	東 京 衛 材	バイオユーリンA		10枚	500円	<ul style="list-style-type: none"> ・コストが安い ・入手しやすい ・皮膚への刺激性が少ない ・フィット性にすぐれ、体動もスムーズに行える
		バイオユーリンB		10枚	700円	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚保護剤使用 ・尿により保護剤が溶解し尿漏れをおこしやすい
	メ デ イ コ ン	ストーマユーリンバッグ		30枚	705円	<ul style="list-style-type: none"> ・5～7日間の装着が可能 ・逆流防止弁が付いている
		ユープラス		30枚	850円	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚保護剤使用 ・開口部サイズが6種類ありゲージをとる手間が省ける
ツ ー ピ ー ス イ ブ 型	ゼ オ ン 興 産	ソフガードフランジ		5枚	850円	<ul style="list-style-type: none"> ・フランジとパウチの二重のコストがかかる ・皮膚保護剤使用
		ソフガードユリナパウチ		10枚	570円	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーマがよく観察できる ・プラスチックによる違和感がある
	東 京 衛 材	バイオマックスニューフランジ	 SM	5枚	650円	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーマの観察ができる
		バイオマックスニューウリナリーパウチ		12枚	500円	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックによる違和感がある
	ス イ ブ	バリケアフランジ		6枚	708円	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚保護剤使用 ・粘着力が強く硬い
		バイオマックスニューウリナリーミニパウチ		10枚	210円	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴用
ブ 社	バリケアソフトフランジ		6枚	708円	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚保護剤の周りを通気性のある低刺激剤の粘着テープで囲んでいる ・非水溶性 ・外から目立たず活動に便利 	
	デュラヘーシブフランジ		5枚	990円	<ul style="list-style-type: none"> ・非水溶性の皮膚保護剤使用 ・表面の柔らかいプラスチックフィルムはストーマを傷つけない ・貼用期間と密着性が大きく向上している 	
	バリケアユリナバッグ		5枚	590円	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の逆流防止機能付き ・柔らかな材質 ・蕃尿器との脱着が容易 	

	会社名	商品名	形状	包装単位 1箱辺り	標準価格 1枚辺り	備考
ツープイス型	スクイブ社	バリケア ウロストミー パウチ		10枚	650円	・排泄口が2段階方式になっている
		バリケア ミニパウチ		10枚	210円	・入浴用
皮膚 保 護 剤	スクイブ社	バリケア パウダー		1本 28.3g	2,500円	・浸出液が多く、湿ったところに散布して水分を吸収し皮膚を保護する
		バリケア ペースト		1本 56.7g	1,200円	・ストーマ周囲のしわやくぼみ、フランジとストーマの隙間を埋めて排泄物の漏れを防ぐ
	東京衛材	カラヤ パウダー		1本 70g	1,200円	・皮膚の保護 ・かぶれの予防
そ の 他		ユニソルブ		50枚	3,100円	・パウチをはがす時の痛みを最小限にする ・肌に優しく肌あれを防ぐ
	ゼオン興産	レッグパウチ		1枚	3,800円	・大腿部に固定し、長時間の外出時に便利で目立たない
		ウロガード		1個	500円	・採尿バッグ